

キャラクター名	プレイヤー名
紫雷 紗夜 しらいさや	

シンドローム	ブラックドッグ ソラリス	ワークス	UGNチルドレンC	カヴァー	高校生
オプション		年齢	17	性別	女性
覚醒	生誕	衝動	自傷	初期侵食率	37 %
出自	天涯孤独	経験	実験体	邂逅	家族

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	2	0	0			2	行動値	5
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	5
精神	2	1	0			3	戦闘移動	10
社会	3	0	0			3	全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	10	10	交渉		
回避	1		知覚			意志	6		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	2
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
思い出の一品		ロイス			
エンプレム:レネゲイドナチュラル		対象	感情(pos)	感情(neg)	タイムス消費
RCブースター		対抗種	P	N	
		四緑蒼	P 好意	N 劣等感	
		鳴木鈴	P 連帯感	N 不安	
			P	N	
			P	N	
			P	N	
			P	N	
			P	N	
		最大財産P:	6	残り財産P:	4

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセントレイトBD	3	2	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果:	C値-lv 下限7							
雷の槍	5	2	メジャー	視界	-	RC	-	
効果:	lv×2+4の射撃 ダイス-1 同エン不可							
雷の剣	1	2	メジャー	至近	-	RC	-	
効果:	+5の射撃 同エン可にする lv回/シーン							
見えざる僕	1	1	リアクション	至近	自身	RC		
効果:	ドッジを行う							
リフレックスBD	3	2	リアクション	至近	自身	シンドローム	-	
効果:	C値-lv 下限7							
完全抗体	3	1	リアクション	至近	自身		-	
効果:	リアクション+lvD アクション側が判定にエフェクトを宣言している場合のみ使用可能							
メタルフュージョン	1	4	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	lv+2D+肉体点HP回復 1回/シーン							
ハードワイヤード	5	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果:	専用アイテムlv個常備化、基本侵+4							
力の霊水	3	4	オート	視界	単体	自動	80%	
効果:	対象のダメージロール+lvD 1回/ラウンド							
電波障害	1	-	メジャー	視界	シーン	自動(RC)	-	
効果:	ナイチンゲールと話せる状況を作る為の力							
声無き声	1	-	メジャー	視界	シーン選択	自動(RC)	-	
効果:	ナイチンゲールに声を届ける為の力							
効果:								
効果:								
効果:								

生まれた時からオーヴァードの少女。  
紗夜のレネゲイドウィルスは通常のソレとは違い、他のレネゲイドウィルスを殲滅し、果ては自身すら傷つける非常に凶悪なモノ、「対抗種」と呼ばれるモノだった。その為、生後間もない頃からFHに捕らえられて、実験対象とされていた。紗夜の最初の記憶は冷たい牢屋と様々な実験に晒された苦痛に彩られたものとなっている。

そんな日々にも僅かな光があった。それは他の実験の対象であった少女、紫雷ひなた。ひなたは度々侵入禁止とされていた紗夜のいる牢屋の鉄格子の前に訪れては、感情を灯さない紗夜に明るく話しかけた。最初はひなたの事を警戒し、自身の殻に閉じこもっていた紗夜だったが、足繁く通うひなたの明るさに徐々に心を開いていった。  
その後、紗夜とひなたが仲良くなるのに時間はかからなかった。鉄格子越しの友情は親愛に変わり、いつしか2人は姉妹のような関係となった。決定的だったのは、名前の無かった紗夜に、ひなたが自分の苗字と「紗夜」という名前をつけたことだった。血は繋がってなくとも、心は繋がっている。2人はそう信じ合っていた。  
しかしその関係が続いたのも、ひなたが実験対象から外されるまでの間だった。廃棄のついでに紗夜の実験にひなたが使われることとなったのだ。「対抗種」はどこまですれば対象を喰いつくすのか、どこまで紗夜が対抗種の力に耐えられるのか、それを知るための実験が行われた。紗夜はひなたが相手だと知らないまま、与えられる苦痛から解放されるために、対象を殺した。結果、ひなたは紗夜の手によって死に、紗夜は動かなくなったひなたの死体によって心が死んだ。

廃人同然で牢屋の中に蹲り、独りで苦痛に耐える日々が繰り返されていた。が、ある日紗夜を捕らえていたFHセルが他セルの襲撃を受け、壊滅する。その日、牢屋の壁が突然吹き飛び、そこから少女が現れた。その少女こそがナイチンゲール。ナイチンゲールは牢屋の惨状に驚くこともなく焦点の合わない目で突然現れた彼女を見つめる紗夜を一瞥して少し考えた後、紗夜を抱え上げた。そして、崩落の危険のない場所に紗夜を捨てていった。  
その後、到着したUGNに紗夜は保護され、今現在UGNチルドレンとしてUGNに在籍している。  
その時のことを紗夜は明確には覚えていないが、「ナイチンゲール」という単語とナイチンゲールが紗夜を抱え上げた時の手の温もりは、脳裏にこびりついている。  
以降、UGNの良心的な人々により、人間らしさを取り戻した紗夜は、記憶を頼りにナイチンゲールを追い続けている。